

# 1. 円山川流域委員会について

## 1.1 円山川流域委員会の目的

円山川流域委員会は「河川整備計画の案（直轄管理区間）」の策定にあたり、以下について意見を述べることを目的としている。

- 1) 河川管理者が策定する河川整備計画の原案とその考え方
- 2) 関係住民意見の反映のあり方

## 1.2 円山川流域委員会の設立

円山川流域委員会は、「河川法(昭和 39 年法律第 167 号)第十六条の二第 3 項に規定する趣旨にもとづき、河川に関し学識経験を有する者の意見を聞くために」国土交通省近畿地方整備局長によって設置されたものであり、同局長から委嘱を受けた 7 名の構成員からなる設立準備会議の 4 回の議論を経て具現化されたものである。すなわち、準備会議は、上記の目的、委員会の構成を含む規約、並びに、委員の選定方法を定め、それらに基づいて、以下に述べる方法によって 23 名の委員を選定した。

委員の選定は、準備会議の構成員は責任上委員となること、同構成員はそれぞれ委員候補者若干名を理由とともに推薦し、委員定員 25 名の概ね 3 分の 1 を準備会議の議を経て選定すること、および、応募様式を定めた自薦他薦による公募を行い、予め定めた基準と手続きに基づいて同じく概ね 3 分の 1 を選定すること、の 3 つの方法によることが準備会議によって決定された。予め定めたの選定方法とは次のようなものである。

円山川へのおもい、委員としての抱負などの応募理由や日常活動から読み取られる円山川や河川一般への見識や専門性、流域における地域性、年齢・性別構成に基づいて、準備会議構成員が 3 段階評価の投票を行い、その集計順位を最優先した上で、概ね 3 分の 1 の範囲で地域性、年齢、性別構成に大きな偏りができないように微調整することとした。これによる選定のため、応募理由・日常活動の特性・年齢・性別を除く個人情報を含む一覽資料を作成し、投票結果は個人特定のリスクを最小化するように配慮して公開し、準備会議の場で委員を選定した。

：厳密には、委員候補者として近畿地方整備局長に推薦するものである。

## 1.3 円山川流域委員会の開催概要

円山川流域委員会はその目的を達成するために、平成 15 年 3 月 8 日に第 1 回流域委員会を立ち上げ、その後、全 16 回の委員会を開催した。また、委員会での各課題について理解を深めるため課題検討会を設け、13 回の課題検討会を開催した。

平成 15 年から平成 16 年にかけては現地視察や河川管理者からの説明により流域、河川の現状を把握し、情報の共有化を図ることにより、円山川のあるべき姿について意見交換を行った。それら意見交換の結果としての「意見集約フロー図」(図 1.2 に示す)を平成 16 年 9 月に開催した第 11 回流域委員会において取りまとめた。

その直後の平成 16 年 10 月 20 日に円山川では台風 23 号による災害が発生し、平成 16 年 12 月に国土交通省により円山川緊急治水対策が計画されたことを受け、流域委員会では円山川緊急治水対策の内容と河川整備計画の関係について検討するために課題検討会の下に円山川緊急治水対策事業検討ワーキンググループ（以下、検討ワーキンググループと記す）を立ち上げた。その検討結果は第 14 回流域委員会において、検討ワーキンググループより委員会に報告された。

平成 18 年、平成 19 年には、それまでの活動成果をもとに、円山川のあるべき姿、関係住民意見の反映のあり方について議論を重ね、その結果、円山川水系河川整備計画の策定に資するため、円山川流域委員会からの意見と提言としての本冊子『円山川のあるべき姿を求めて』をとりまとめた。

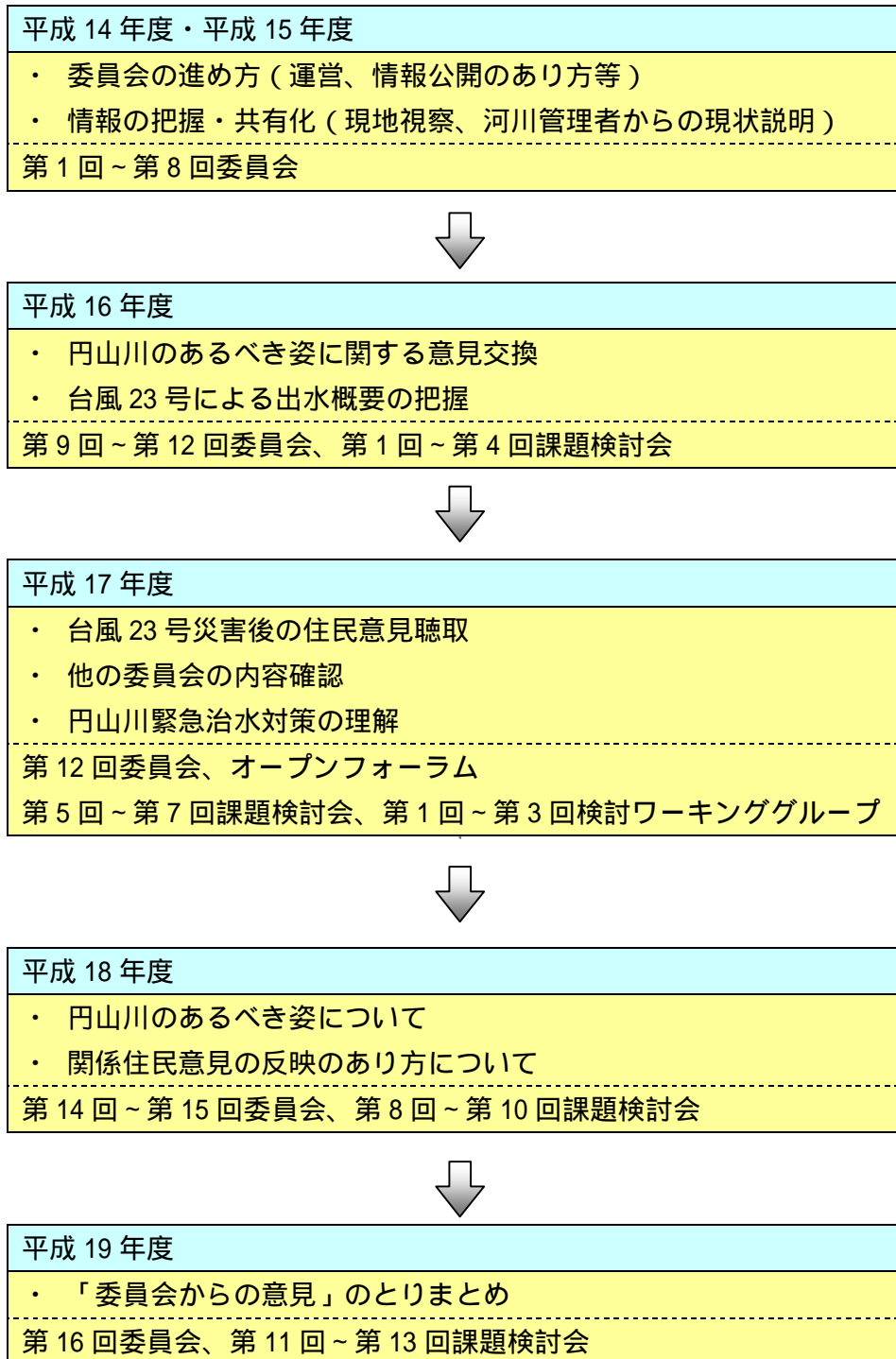


図 1.1 流域委員会の開催概要

表 1.1 委員会等の開催日及び議題等内容

| 会議名              | 開催日       | 議題等内容   |
|------------------|-----------|---|
| 第 1 回委員会         | H15. 3. 8 | 情報公開、今後の進め方、流域の概要説明   |
| 第 2 回委員会         | H15. 6.17 | アンケート結果の取り扱い方法、現地視察について   |
| 第 3 回委員会         | H15. 7. 3 | 直轄区間上流域の現地視察  |
| 第 4 回委員会         | H15. 7.15 | 直轄区間下流域の現地視察  |
| 第 5 回委員会         | H15. 9.17 | 直轄区間河口域の現地視察<br>アンケート結果の議論、今後の情報の共有化について                                |
| 第 6 回委員会         | H15.11.18 | 円山川流域の現状説明、県管理区間の取り扱いと現地視察について、情報の共有化の進め方                               |
| 第 7 回委員会         | H15.12.18 | 円山川上流域（県管理区間）の現地視察  |
| 第 8 回委員会         | H16. 2. 3 | 河川管理者からの現状説明、川合委員からの情報提供  |
| 第 9 回委員会         | H16. 4.27 | 円山川の現状に対する質問の回答及び補足説明   |
| 第 10 回委員会        | H16. 6.30 | 円山川のあるべき姿に関する意見交換   |
| 第 11 回委員会        | H16. 9.14 | 円山川に関するおもい・意見の集約結果の報告   |
| 第 1 回課題検討会       | H16.10.13 | 課題検討会運営方針(案)について、9月30日出水の状況説明、今後の委員会の進め方                                |
| 第 2 回課題検討会       | H16.11. 8 | 台風 23 号による災害発生状況の現地視察   |
| 第 3 回課題検討会       | H16.12. 9 | 台風 23 号による出水概要の説明、災害対応の制度について   |
| 第 4 回課題検討会       | H17. 2. 4 | 河川管理者による円山川緊急治水対策および堤防調査委員会の審議に関する説明と質疑応答、河川整備計画と緊急治水対策との関連についての議論      |
| 第 12 回委員会        | H17. 3.14 | 円山川緊急治水対策の説明及び意見交換  |
| 第 5 回課題検討会       | H17. 7.27 | 円山川水系自然再生計画検討委員会の内容確認   |
| オープンフォーラム        | H17. 8. 2 | 台風 23 号の災害を受けた住民の意見聴取及び参加者全員による意見交換                                     |
| 第 6 回課題検討会       | H17. 9.20 | オープンフォーラムの集計結果報告、住民意見の反映方法についての議論、円山川緊急治水対策の評価に向けた議論                    |
| 第 13 回委員会        | H17.11. 7 | 委員の追加について、あるべき姿を考える上での住民意見の取り扱いについて、円山川緊急治水対策事業について                     |
| 第 1 回検討ワーキンググループ | H17.12.20 | 座長選出、検討ワーキンググループの進め方について、円山川緊急治水対策の理解                                   |
| 第 2 回検討ワーキンググループ | H18. 2.18 | 円山川緊急治水対策の理解、円山川のあるべき姿との関連性   |
| 第 7 回課題検討会       | H18. 3.15 | 円山川緊急治水対策について、第 13 回委員会からの経過、検討WGの活動内容の報告、検討WG成果の委員会報告について、今後の流域委員会の進め方 |

| 会議名              | 開催日       | 内容  |
|------------------|-----------|---|
| 第 3 回検討ワーキンググループ | H18. 3.15 | 検討ワーキンググループの成果とりまとめ   |
| 第 8 回課題検討会       | H18. 7.20 | 今年度の活動内容について、河川整備計画の提言について                                      |
| 第 14 回委員会        | H18. 8.24 | 検討ワーキンググループの成果について、円山川のあるべき姿と当面の課題（主に治水面）について、関係住民意見の反映のあり方について |
| 第 9 回課題検討会       | H18.10.29 | 景観に関する意見について、景観に関する講演、景観に関する意見交換                                |
| 第 10 回課題検討会      | H19. 3. 4 | 前回委員会以降の活動内容について、委員会からの意見について                                   |
| 第 15 回委員会        | H19. 3.27 | 河川整備に対する意見の取りまとめ方について、関係住民意見の反映方法に関する委員へのヒアリング・アンケート結果について      |
| 第 11 回課題検討会      | H19. 5. 2 | 委員会からの意見のとりまとめについて、関係住民意見の反映のあり方について、下流部治水対策について                |
| 第 12 回課題検討会      | H19. 5.31 | 委員会からの意見のとりまとめについて  |
| 第 13 回課題検討会      | H19. 6.19 | 委員会からの意見のとりまとめについて  |
| 第 16 回委員会        | H19. 6.28 | 円山川流域委員会からの意見と提言について  |

## 1.4 円山川流域委員会の構成

表 1.2 流域委員会の委員

| 氏名                      | 所属等                                 | 対象分野        |
|-------------------------|-------------------------------------|-------------|
| ありもと<br>有本 まさひこ<br>正彦   | NPO ひょうごエコ市民ネットワーク                  | 地域の特性に詳しい委員 |
| いけだ<br>池田 ひろし<br>啓      | 兵庫県立大学教授<br>県立コウノトリの郷公園研究部長         | 保全生物学       |
| うえだ<br>上田 ひさし<br>尚志     | 兵庫県立豊岡総合高等学校教諭                      | 自然保護・昆虫     |
| うど<br>宇戸 すみこ<br>純子      | 京都造形芸術大学芸術学部助教授                     | ランドスケープデザイン |
| えじり<br>江尻 しげる<br>繁      |                                     | 地域の特性に詳しい委員 |
| おかもと<br>岡本 しょうじ<br>昭治   | 円山川「菜の花の会」                          | 地域の特性に詳しい委員 |
| おきむら<br>沖村 たかし<br>孝     | 神戸大学都市安全研究センター教授                    | 防災工学        |
| かきた<br>垣田 へいじろう<br>平治郎  | 玄武洞公園整備検討委員会(委員長)                   | 地質学         |
| かじもと<br>梶本 うしろう<br>丑朗   | 創作工房「土」(円山川風景画等) 主管                 | 地域の特性に詳しい委員 |
| かとう<br>加藤 さかえ<br>榮      |                                     | 地域の特性に詳しい委員 |
| かわい<br>川合 しげる<br>茂      | 和歌山工業高等専門学校教授                       | 河川工学        |
| きくち<br>菊地 なおき<br>直樹     | 兵庫県立大学講師<br>県立コウノトリの郷公園研究員          | 環境社会学       |
| きのせ<br>木之瀬 ひさてる<br>久輝   |                                     | 地域の特性に詳しい委員 |
| すがむら<br>菅村 さだよし<br>定昌   | 豊岡市立八条小学校教員                         | 陸・水生物(植物)   |
| はた<br>畑 たけし<br>武志       | 神戸大学名誉教授<br>賢明女子学院 法人顧問             | 農業水利        |
| はっとり<br>服部 たもつ<br>保     | 兵庫県立大学自然環境科学研究所教授                   | 植物生態学       |
| ひらい<br>平井 すみお<br>住夫     | 土木学会(都市河川の川づくりと利用に<br>関する史的研究委員会委員) | 治水・海岸       |
| ふじた<br>藤田 ゆういちろう<br>裕一郎 | 岐阜大学 流域圏科学研究センター教授                  | 河川工学        |
| ほそだ<br>細田 まき<br>真紀      |                                     | 地域の特性に詳しい委員 |
| まえだ<br>前田 つねお<br>常雄     | 園田学園女子大学大岡山 G.C 所長<br>南但馬の自然を考える会代表 | 地域の特性に詳しい委員 |
| まつだ<br>松田 たくじ<br>澤司     | 養父市小城水利組合                           | 地域の特性に詳しい委員 |
| やすもり<br>安森 あきら<br>章     | 神戸新聞社北播総局長(前但馬総局長)                  | マスコミ        |
| やまくち<br>山口 ひさき<br>久喜    | 豊岡市文化財審議委員                          | 地域史・文化財     |

：以下の3委員については途中で退任、委員の期間は下記のとおり（平成19年6月現在）

宇戸委員は平成15年3月（第1回委員会）～平成17年3月（第12回流域委員会）

平井委員は平成15年3月（第1回委員会）～平成18年3月（第7回課題検討会）

梶本委員は平成15年3月（第1回委員会）～平成19年3月（第10回課題検討会）

委員の意見のまとめ  
(委員会、アンケート、ヒアリング)

集約フロー

議論していくべき課題

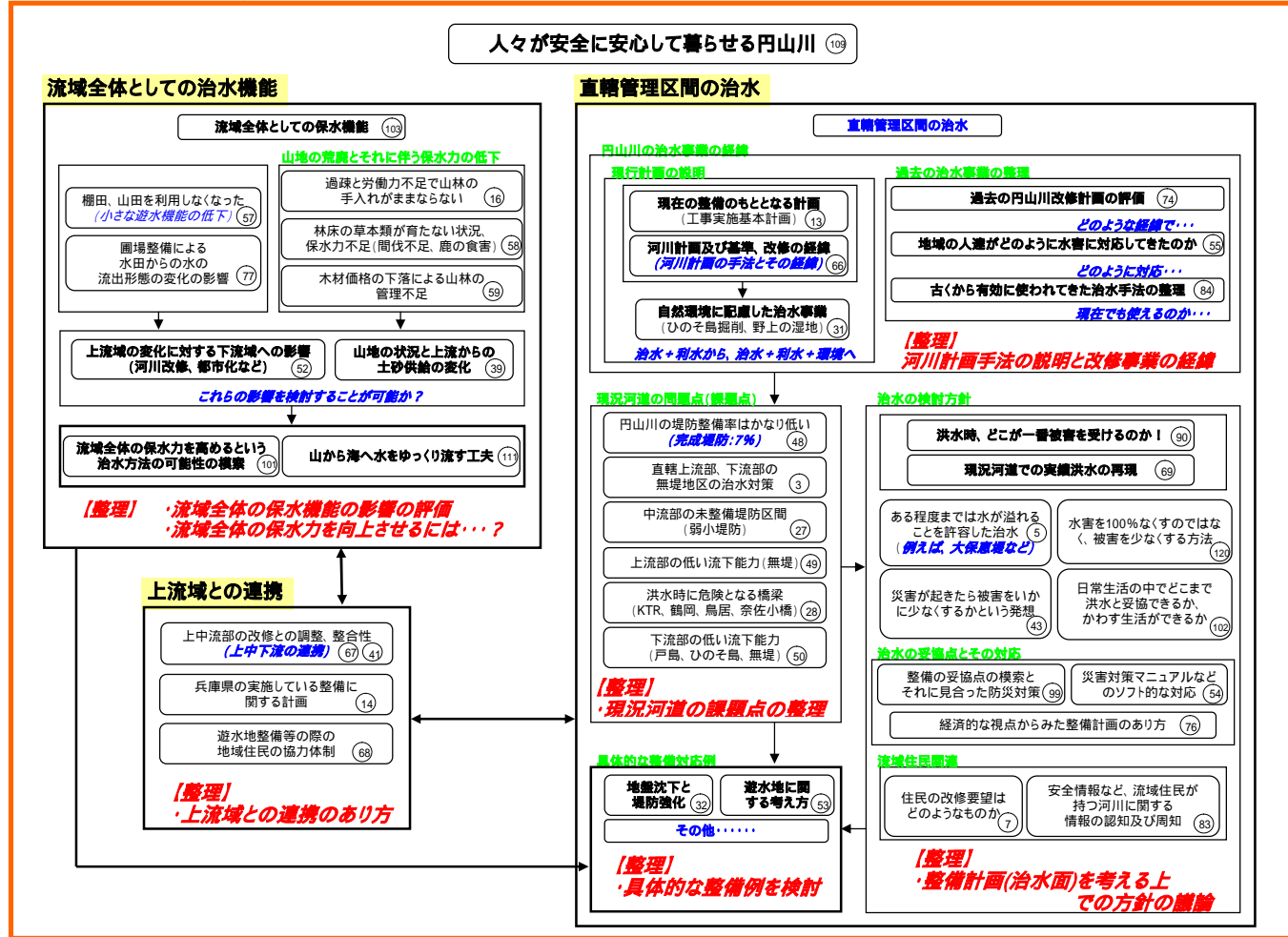


凡例  
**黒字**：委員会等での意見  
**黒字**：集団(意見集団)  
**青字**：補足説明等  
**赤字**：議論、整理していく内容  
 意見の先頭の数字は意見番号

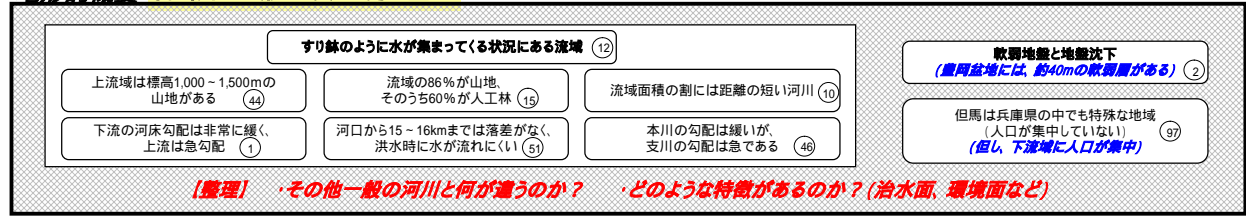
テーマ毎の「円山川のあるべき姿(理想の円山川)」

円山川流域

テーマ1: 住民が安全に、安心して暮らせる円山川



地形的概要 円山川の地形・地質・地勢の整理



テーマ2: 平常時の円山川との付き合い方

